

2020年度 発達支援つむぎ池尻ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.00	清掃チェック表を用いて、管理してまいります。また、常にお子さまの視線や動線を考えながら、整理整頓に努めてまいります。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	2.60	全職員が、お子さまひとり一人を多角的に見ていくことができるよう、研鑽を積んでまいります。
	3 業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.40	引き続き、働きやすい環境づくりを目指してまいります。
	4 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		安定した支援の提供を図るために、職員が気持ちよく働ける居心地のいい職場づくりを目指します。
業務改善について	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.60	滞りのない業務遂行のため、職員全体で業務の共有と分担をしながら進めてまいります。
	6 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.40	保護者さまからいただいたアンケートは全員で共有し、ご意見に対しては、ひとり一人が自分事として向き合えるよう話し合いの時間を持ちました。改善を目指し、全員で取り組んでまいります。
	7 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.60	事業所内掲示と合わせて、ホームページでもご覧いただけます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.40	引き続き、内部評価、外部評価による業務改善に努めます。
	9 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.20	社内のスキルアップ研修にとどまらず、広く研鑽の場へ出向くことを推奨しております。また、ルーム内でのケース検討や学びの時間も多く取ってまいります。
	10 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		いただいた貴重なご意見は、すぐに改善していけるよう、職員全員で対応していきます。また、自分たちの基準によらない第三者の評価の機会を持ち、常に向上していけるよう努めます。
適切な支援の提供について	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.20	偏った評価や見立てが生まれないよう、職員の基準を一致させてまいります。
	12 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.60	半年に一度以上のモニタリングと策定会議を通し、お子さまの成長に見合った個別支援計画の作成をさせていただきます。
	13 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.40	個別支援計画をもとに、個々の狙いを定めてプログラムを立てております。また、同じことをやっても、それぞれのめあてがあることをフィードバック等で個々にお伝えできるよう努めてまいります。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.80	職員間で、常に相談ができるような環境づくりをし、支援の引き出しを増やしてまいります。また互いに陪席しあうなどし、アドバイスしあいながら様々なプログラムを提供できるよう努めます。
	15 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.00	集団指導の前には必ずミーティングの時間を設け、流れの確認にとどまらず、動きの確認や声掛けの仕方などを、あらゆるパターンを想定して行っております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.20	毎回お子さまひとり一人を振り返り、次回の支援に繋げられるよう、共有する時間を設けております。
	17 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.20	振り返りの内容は記録し、個人のファイルに管理しております。必要な時にはすぐに過去の記録を読み返し、次の支援に活かせるよう活用しております。
	18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.40	半年に一度以上のモニタリングと策定会議を通し、お子さまの成長に見合った個別支援計画の作成をさせていただきます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。（自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など）	3.40	児童発達支援ガイドラインに則り様々な活動を取り入れバランスの良い支援を行うよう計画しております。
	20 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		今後も、個々にねらいを持ち、取り組んだことを振り返り、次回以降に活かしていくというサイクルを大切に、一步一步進んでいきたいと思っております。
保護者との関係構築について	21 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.00	指導後は必ず保護者さまとお話できる時間を設けております。こちらから今日のお子さまの様子をお伝えすることはもちろんですが、保護者さまからのお話いただく時間を大切にしたいと考えております。
	22 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.00	保護者さまからのご希望があった際には、園を訪問させていただき、所属園の様子を見させていただいた上で、つむぎでできること、取り組まなくてはならないことを考えてまいります。
	23 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.40	今後は、併用事業所との連携を密にし、お子さまの成長を共に考えていける機会を持っていきたいと思っております。
	24 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	2.80	途切れの無い支援の為に、つむぎ終了後の次のステージへのスムーズな移行に尽力したいと思っております。

保護者との関係連携にやっています	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.60	主に世田谷区、目黒区の支援センターと連携し、研修や連携会議などを持ちながら、より質の高い支援ができるよう努めてまいります。
	26	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	1.80	地域に根付いた事業所となるよう、連携を大切にしております。
	27	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	2.00	誰にでも開かれたカフェを目指し、広く周知されるよう努めます。また、地域の公園や集会場などを活用し、交流の場が持てるよう活動していきます。
	28	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	1.80	地域に開かれた行事を開催することができておりませんが、今後気軽に発達相談などができるような会を開催し、地域に貢献できればと考えております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	1.80	保護者さま向けの書籍を多く用意し、学びの機会の提供をしております。今後、共に学べる機会を作ればと思っております。
	30	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		コロナ禍で、広く繋がるのが難しい状況ではありますが、オンライン研修や少人数での集まりを開きながら、連携していければと考えております。
保護者やお子さまへの対応などについて	31	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.00	全職員が、児童発達支援の仕組みについて熟知し、ご説明ができるよう、研鑽してまいります。
	32	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.00	担当に限らず、指導の待ち時間などを利用してお話ができるよう、全職員とカフェで気軽に話せるような時間を大切にしております。
	33	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	2.20	今後、就学の流れの体験会であったり、同じ悩みを共有するような座談会などが開催できるよう努めてまいります。
	34	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.60	情報の共有を密にし、迅速に対応できるよう心がけております。
	35	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.40	活動内容はグループルームのマジックミラー前に掲載させていただいております。イベントのお知らせは配布物、掲示、お電話でお知らせしております。今後はブログなども活用していきたいと思っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.80	園や生活に汎化されることを第一目的としているため、所属集団での様子や小学校での場面を想定したお伝えの仕方を心がけております。
	37	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.20	事務所が開放されているため、今後も個人情報の取り扱いには十分に配慮してまいります。
	38	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.20	毎日、朝と夕方にミーティングの時間を設け、情報の共有をしております。また、記録を残し、休みだった職員にも共有されるよう回覧しております。
	39	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.60	研修の時間を設け、全員で読み込む時間を作りました。その後も常に意識ができるよう、確認を心がけております。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.40	毎月、必ず避難訓練を行っております。様々な非常災害を想定し、柔軟に対応できるよう心がけております。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.40	東京都の虐待防止研修を受講済みです。今後、ルーム内研修で、全員が適切な対応ができるよう取り組んでいきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.20	毎日、夕方のミーティングで、本日のヒヤリハットを確認し、再発防止に努めております。
	44	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		リスク管理ができるよう、お子さまの動きや考えを予測したり、成長をしっかり捉えることを大切にしています。今後も事故が起こらないよう、しっかりと管理してまいりたいと思っております。
満足度について	45	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	3.80	常に「楽しい」を第一に考えています。その先に、それぞれのねらいや課題がありますが、知らないうちに自信がついていたり、得意になっていたりすることを大切にしたいと思っております。
	46	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することができるか。	4.20	夕方のミーティングで、その日のお子さまひとり一人の成長を共有しています。職員にとっても、お子さまの成長が一番の喜びです。今後も成長や変化を楽しみに、真摯に向き合っていければと思っております。
	47	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		居心地のいい職場づくりが、より良い支援に繋がると考えております。職場環境を整え、職員がいつも笑顔でお子さまをお迎えできるよう、整えてまいりたいと思っております。

アンケート実施期間：2020年8月18日～9月5日
全回答数：5

発達支援つむぎ 池尻ルーム